

令和2年度進捗評価シート
三島市歴史的風致維持向上計画（平成28年10月3日認定）
（最終変更令和3年1月25日）

□進捗評価シート（様式1）

①組織体制（様式1-1） 1 計画の推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策（様式1-2） 1 まち並みと景観形成	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項（様式1-3） 1 歴史的風致形成建造物保全整備事業 2 史跡等保存活用計画策定・史跡等総合整備活用事業 3 三島大祭り補助事業 4 三島囃子保存会補助事業 5 地域文化財啓発補助事業 6 景観重点整備地区内景観形成補助事業 7 案内看板統一化事業 8 ふるさとガイドの会補助事業	3 4 5 6 7 8 9 10
④文化財の保存又は活用に関する事項（様式1-4） 1 文化財の保存・活用を行うための施設 2 文化財の防災 3 文化財の保存・活用の普及・啓発	11 12 13
⑤効果・影響等に関する報道（様式1-5） 1 歴史と文化財紹介 再発見語り継ぐリーフレット完成 1 ほか 14件	14
⑥その他（効果等）（様式1-6） 1 観光交流客	15
□法定協議会等におけるコメントシート（様式2）	16

進捗評価シート

(様式1-1)

評価軸①-1

組織体制

項目	評価対象年度	令和2年度	現在の状況			
計画の推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手				
●本計画の推進体制は、本計画策定に主体的に係る都市計画課と文化財課が担当し、各事業担当課と庁内の横断的な連携を図りつつ、本計画の総合的かつ効果的な進行を図る。						
●三島市歴史まちづくり協議会は、計画の円滑な実施に係る連絡調整や計画変更の協議及び計画の進捗評価を行う。						
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
●事務局である都市計画課と文化財課の連携の下、関連事業の主要な担当部署である商工観光課との打合せを行った。 ●令和2年度歴史まちづくり協議会を開催し、歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価等について協議するとともに、文化財保護審議委員会を開催した。						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない						
状況を示す写真や資料等						
<p>■令和2年度第1回三島市歴史まちづくり協議会(書面開催)の開催状況</p> <p>書面決議日 令和2年7月13日(月) 協議事項 ・会長の互選について ・副会長の互選について ・令和元年度三島市歴史的風致維持向上計画の進捗評価について</p>						
<p>■令和2年度第2回三島市歴史まちづくり協議会(書面開催)の開催状況</p> <p>書面決議日 令和2年12月25日(金) 協議事項 ・三島市歴史的風致維持向上計画の変更について</p>						
<p>■令和2年度第1回三島市文化財保護審議委員会の開催状況</p> <p>書面決議日 令和2年8月21日(金) 協議事項 ・現地視察(三島大社、圓明寺) ・令和3年度補助金支出予定案件について(圓明寺) ・市指定文化財候補について(新出の河合家文書31点)</p>						
<p>■令和2年度第2回三島市文化財保護審議委員会の開催状況</p> <p>書面決議日 令和3年3月24日(水) 報告事項 ・市補助金支出予定案件の現地視察 (光安寺鼻取り地蔵の修復完了報告) ・歴史的風致形成建造物の指定について (旧小松宮別邸桜御殿、旧倉屋本店) ・令和3年度の委員会開催方針について</p>						
			▲第1回文化財保護審議委員会の現地視察の様子			
			▲第2回文化財保護審議委員会の現地視察の様子			

進捗評価シート

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

(様式1-2)

項目	評価対象年度	令和2年度	現在の状況			
まち並みと景観形成			□実施済 ■実施中 □未着手			
計画に記載している内容	<p>●良好な景観の形成に関する施策との連携として、都市計画法に基づき建築物の高さ制限について検討する。</p> <p>●三島市景観計画等との連携として、三島市景観形成基本計画に基づく景観重点整備地区の候補地について、三島市景観条例に基づき順次追加指定を進めて行く。</p> <p>●三島市屋外広告物条例に基づく屋外広告物誘導整備地区の追加指定を行うとともに、同条例の周知に取り組む。</p>					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
<p>●県道三島停車場線の電線地中化事業及びアーケード撤去に合わせて、「景観重点整備地区(一番町三島駅前通り地区)」の指定(令和3年度)に向けて、地元の「一番町まちづくり委員会」と連携し、地区景観推進協議会を立ち上げた上で、同協議会を5回開催した。この協議会においてワークショップ形式による意見交換を経て、景観整備方針(案)及び地区景観形成基準(案)を作成した。</p> <p>◆事業の効果 「景観重点整備地区(一番町三島駅前通り地区)」の指定に向けた意見交換を行い、景観整備方針(案)及び地区景観形成基準(案)を作成したことで、地区の目指すべき景観形成の方向性が定まり、地区の住民等の景観形成に係る意識が醸成された。</p>						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない						
状況を示す写真や資料等						
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>▲三島駅(南口)方面を見た沿道</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>▲景観形成基準(案)に沿ったイメージ</p> </div> </div>						
<p>▲「景観重点整備地区(一番町地区)」(仮称)の周辺区域</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>▲地区景観推進協議会の様子</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>▲景観重点整備地区案内図</p> </div> </div>						
<p>景観重点整備地区(6地区)とは 特に景観形成を図る必要があると 認められる地区。景観形成の目標及 び基準(建築物の色彩や屋外広告物 の掲出基準等)を定めています。</p>						

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

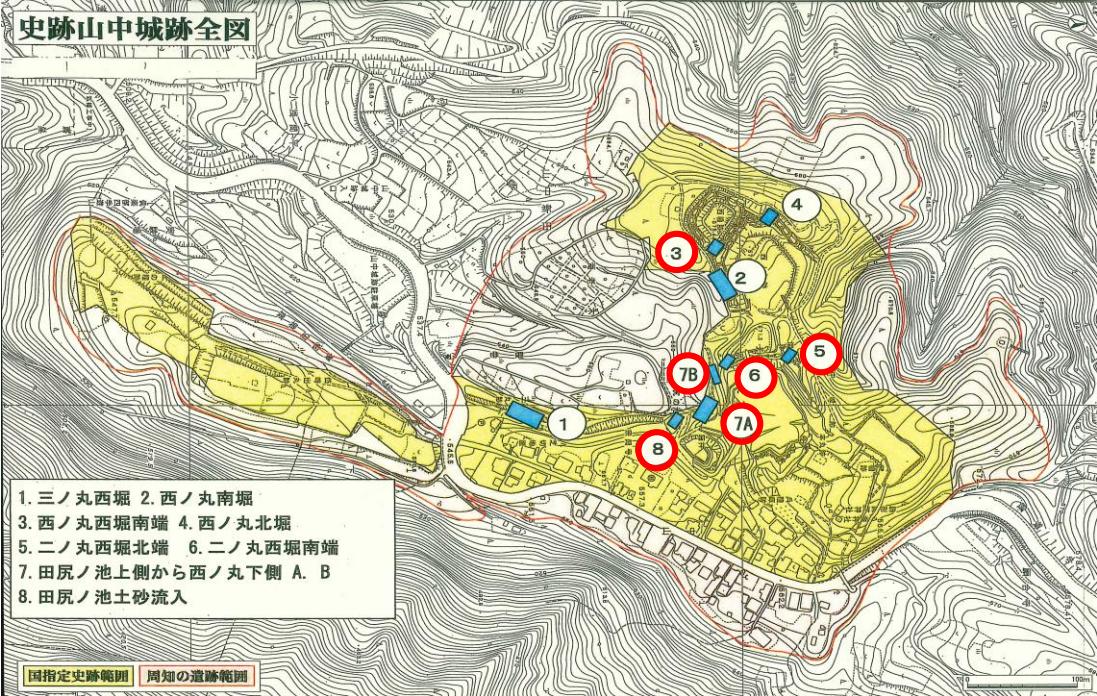
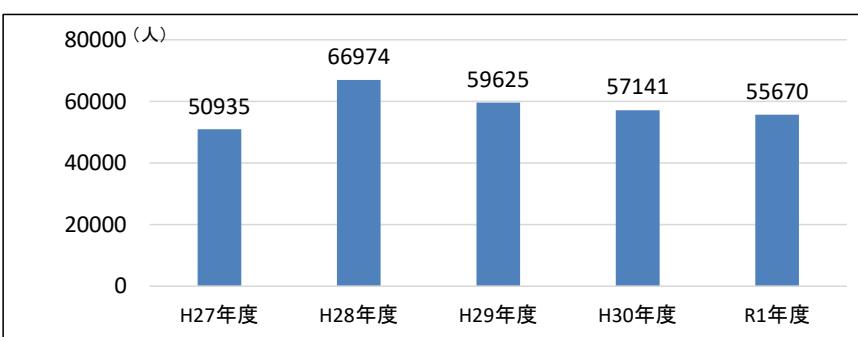
項目	評価対象年度	令和2年度
歴史的風致形成建造物保全整備事業		□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	平成28年度～令和7年度	
支援事業名	社会资本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業	
計画に記載している内容	重点区域内に点在している歴史的建造物(三嶋大社、楽寿館、梅御殿、三嶋暦師の館、懐古堂ムラカミ屋等)について、維持保全を図るために、必要に応じ補修及び修復などを行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>●社会资本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)及び三島市文化財保護事業費補助金(市単独)を活用し、歴史的風致形成建造物の外壁及び屋根の修繕等を行った。</p> <p>○令和2年度実績 三嶋大社舞殿の修繕・耐震補強:2,500千円補助(三島市文化財保護事業費補助金) 三嶋暦師の館の修繕・耐震補強:9,000千円補助 (社会资本整備総合交付金(街なみ環境整備事業))</p> <p>●2件の建造物(旧小松宮別邸桜御殿、旧倉屋本店)を歴史的風致形成建造物に指定した。</p> <p>◆事業の効果 歴史的風致形成建造物の維持保全を図った。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	歴史的風致形成建造物については、適切な維持保全が図られるよう、引き続き、補修及び修復を行っていく必要がある。	
状況を示す写真や資料等		
▲三嶋大社舞殿(修繕前)	▲三嶋大社舞殿(修繕後)	
▲三嶋暦師の館(耐震補強工事中)	※荒壁パネル設置により耐震補強を行い、左官工事により当該建造物の趣を維持している。 ▲三嶋暦の館(耐震補強工事後)	
▲旧小松宮別邸 桜御殿 ※令和2年度指定	▲旧倉屋本店(看板建築) ※令和2年度指定	

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度												
史跡等保存活用計画策定・史跡等総合整備活用事業		□実施済 ■実施中 □未着手												
事業期間	平成29年度～令和7年度													
支援事業名	史跡等保存活用等策定事業													
計画に記載している内容	山中城跡の調査及び史跡保存活用計画を策定するとともに、計画に基づき、復元整備などを行う。													
	定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で													
●史跡山中城跡の保存活用計画策定に向け、史跡山中城跡追加指定候補地に係る測量など、基礎データの収集を行った。														
◆事業の効果														
史跡山中城跡の保存活用計画策定の土台となる資料の収集を行うことができた。														
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)													
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	保存活用計画策定に加え、令和元年10月の台風19号により山中城跡でも8ヶ所において被災したため、令和2-4年度に復旧工事を計画しており、人員的にタイトとなっているが、国及び県等からの助言等を受け、復旧を進めていく。													
	状況を示す写真や資料等													
 <p>1. 三ノ丸西堀 2. 西ノ丸南堀 3. 西ノ丸西堀南端 4. 西ノ丸北堀 5. 西ノ丸西堀北端 6. 西ノ丸西堀南端 7. 田尻ノ池上側から西ノ丸下側 A 8. 田尻ノ池土砂流入</p> <p>国指定史跡範囲 周知の遺跡範囲</p>														
 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>来城者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27年度</td> <td>50935</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>66974</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>59625</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>57141</td> </tr> <tr> <td>R1年度</td> <td>55670</td> </tr> </tbody> </table> <p>▲R2実施 災害復旧箇所 (3,5,6,7,8)</p>	年度	来城者数(人)	H27年度	50935	H28年度	66974	H29年度	59625	H30年度	57141	R1年度	55670		
年度	来城者数(人)													
H27年度	50935													
H28年度	66974													
H29年度	59625													
H30年度	57141													
R1年度	55670													
	▲史跡山中城跡来城者数の推移													

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
三嶋大祭り補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	昭和50年度～令和7年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	今後も三嶋大祭りを継続的に開催するとともに、更なる魅力の向上及び情報発信力の向上を図り、保存及び継承に繋げていくため、三嶋大祭りの運営費等の一部を補助する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から三嶋大祭りが中止となつたため、当該事業を実施することができなかつた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたつての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
三島囃子保存会補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	昭和55年度～令和7年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	静岡県指定の無形民俗文化財である三島囃子の保存・継承のために、三島囃子保存会の活動費の一部を補助する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>●三島囃子保存会の活動費の一部を補助した。</p> <p>●活動内容</p> <p>・練習：適宜実施(月2回程度)ただし年度当初から12月まではコロナ禍の影響で中断。</p> <p>◆事業の効果</p> <p>本事業は静岡県の民俗文化財に指定された当時の演奏曲、曲調、演奏技術を後世に残すことを第一としており、今後も技量を維持するための練習を継続して実施している。</p> <p>なお、三島囃子の一部であるしやぎりは、令和2年度は中止になったが三嶋大祭りには欠かせないもので、晴れ舞台の祭り当日に向け、町内ごとに老若男女が集まって演奏練習を行うことで、地域の絆づくりに寄与している。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2年度の三嶋大祭りはコロナ禍で中止となつたが、将来の担い手となる子どもたちへの普及活動は必要不可欠であるため、今後も補助事業を継続していく。	
状況を示す写真や資料等		

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 令和2年度	現在の状況		
地域文化財啓発補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
事業期間	平成28年度～令和7年度			
支援事業名	市単独事業			
計画に記載している内容	民俗文化財の伝承のために、歴史研究を行う市民団体と三島市郷土資料館と行政が連携し、市内の民俗文化財に関する調査を実施し、映像や報告書としてとりまとめる。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
<p>●「石造物調査の会」を年間4回実施し、郷土資料館ボランティアと協働で中郷地域の石造物調査を進めた。</p> <p>●「古文書整理の会」を年間5回実施し、館蔵資料である的場贊川家文書や安久秋山家文書の整理・調査を行った。</p> <p>◆事業の効果 「三島の石造物2 大場」、「的場贊川家文書仮目録(3)」の刊行により、郷土学習の基となる情報の集積を進めることができた。また、活動の蓄積により、ボランティアや地域の人々の郷土に対する関心や知識を増進させることができた。</p> <p>※新型コロナウィルス感染症の感染拡大の影響をうけ、石造物調査の会は令和2年4月～令和3年3月までの全11回の内、4～9月・1・2月の7回が中止となり、古文書整理の会は全11回の内、4～9月・1月の6回が中止となった。</p>				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	<p>市民ボランティアと連携するとともに、調査は専門的な知識が必要になることから、専門家の意見等を聞きながら、事業を進めていく。また、基本的な調査が実施出来るようになつたため、今後は調査の精度とペースを上げられるよう、さらに経験を重ねていく。</p>			
状況を示す写真や資料等				
▲三島の石造物2 大場	▲的場贊川家文書仮目録(3)			
▲石造物調査の様子	▲古文書整理の様子			

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 令和2年度	現在の状況
景観重点整備地区内景観形成補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間 平成12年度～令和7年度		
支援事業名 市単独事業		
計画に記載している内容	三島市景観重点整備地区において、建築物を行為の制限に適合させるための工費の一部を補助する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>● 良好的な景観形成のため、景観条例・景観計画に基づく景観重点整備地区内の修繕等について補助を行った。</p> <p>○ 令和2年度実績：「白滝公園・桜川地区」内の建築物の外観の変更：2件(1,000千円補助) 「蓮沼川(宮さんの川)地区」内の建築物の新築：1件(1,000千円補助)</p>		
<p>◆事業の効果 行為の制限に適合した建築や、修繕などが促進され、景観重点整備地区内の価値と魅力の向上を図られた。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
	当該補助事業の周知を図るために、広報みしまでの周知をするとともに、対象となる世帯に資料を配布する。	
状況を示す写真や資料等		
<p>【白滝公園・桜川地区】</p>   <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>▲改修前(R2)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>▲改修後(R2)</p> </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【工事内容】 外壁塗装、 屋根葺き替え</p> </div>		
  <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>▲改修前(R2)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>▲改修後(R2)</p> </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【工事内容】 外壁塗装、 屋根葺き替え</p> </div>		
 <div style="text-align: center;"> <p>▲新築(R2)</p> </div>		
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【工事内容】 建築物の新築</p> </div>		

項目	評価対象年度 令和2年度	現在の状況
案内看板統一化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間 平成28年度～令和7年度		
支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容 歴史的な建造物等を案内する既存の案内看板について、案内機能の向上を図るために、表記方法や意匠の統一化、多言語化など案内看板の整備を進めます。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で ●静岡県・三島市・清水町の「水の郷構想」に基づき、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)を活用した事業を実施。 令和元年度に策定した境川・清住緑地から水の苑緑地の間で歴史的建造物等を含んだウォーキングコース上に案内サイクル等を整備した。 ●事業の効果 国内外の利用者への案内機能の向上及び充実が図られた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>▼ウォーキングコース</p> <p>蓮沼川 源兵衛川</p> <p>三島広小路駅</p> <p>ウォーキングコース</p> <p>千貫樋</p> <p>境川・清住緑地</p> <p>水の苑緑地</p> <p>柿田川公園方面</p> <p>中郷温水池方面</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【ウォーキングルート上に設置した案内サイン】</p> <p>▲案内看板: 13箇所</p> <p>◆路面標示サイン: 7箇所</p> </div>		

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
ふるさとガイドの会補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済	<input checked="" type="checkbox"/> 実施中
<input type="checkbox"/> 未着手			
事業期間	平成3年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	本市への来訪者に、市の歴史や人々の伝統的な活動についてボランティアで案内する「ふるさとガイドの会」について、ボランティアガイド養成のための費用を補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>●ふるさとガイドの会に対し、補助金を支出した。</p> <p>●活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般向けフィールドワーク「ふるさとみしま歴史探訪」を1回実施。 ・ガイドの会30周年記念誌編さん事業を実施 ・案内人数1,063人、案内件数153件 <p>◆事業の効果</p> <p>会員総数(70名/R3.4.1現在)を維持している。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ボランティアガイドの高齢化が進行。事業継承、担い手育成及び人員確保のため、隔年でボランティアガイド養成講座を開催していく。		
状況を示す写真や資料等			
			
<p>▲ふるさとガイドの会活動の様子 (富士山の日「湧水を探しながら、 富士山を眺めませんか」) (令和3年2月23日)</p>			

進捗評価シート

(様式1-4)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容	●本市には、文化財等を保存し、情報発信をしている三島市郷土資料館を筆頭に、多くの施設があり、来訪者の歴史学習、史跡や文化に対する意識の醸成に寄与する機能を担っている。 ●案内板や誘導サインの表示の統一化と多言語化を行うとともに、情報発信をするガイダンス施設の整備を図る。 ●国指定文化財の山中城跡については、経年劣化という課題を抱えていることから、山中城跡の調査及び保存・活用を図る保存活用計画の策定を行うとともに、計画に基づき復元整備を行っていく。
	定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●三島市郷土資料館事業

1 企画展

R2/4/18～6/28 「浮世絵でたどる東海道五十三次と四つ辻の町三島」前期 2,422人
 R2/7/11～7/26 「三島宿のジオと歴史—写真とマンガで見る—」 4,139人
 R2/8/1～8/30 「浮世絵でたどる東海道五十三次と四つ辻の町三島」後期 5,700人
 R2/9/5～10/18 「採る・捕る・獲る—富士・沼津・三島の狩猟・採集—」三島会場 6,308人
 (3会場合計15,388人)
 R2/10/31～R3/2/28 「三島を襲った災害と復興」 17,218人

2 教室・講座

(1)郷土教室 5月～翌3月までの主に土・日曜日、月1～3回程度 全12回(計画23回、中止11回) 489人
 ※コロナウイルス感染症対策の為、上半期の郷土教室を中止し、8月中旬から対策したうえで再開した。

(2)その他

企画展関連事業
 ふるさと講座「北伊豆の災害現場を訪ねて」 R2/11/9 ①9人 ②7人 計16人
 講演会「三島の自然災害」 R2/12/12 21人
 防災講座「大規模地震を体感しよう」 R3/2/13 139人
 ボランティア視察研修 江戸時代の三島宿を歩く R3/3/11 計14人

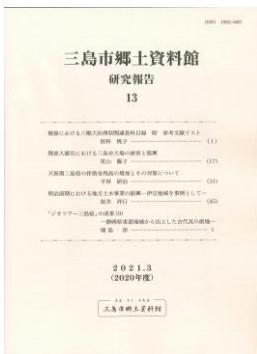
3 刊行物

郷土資料館だより127～129号 各号1,000部 / 三島の石造物2 大場 230部
 三島宿関係史料集11 三島 間屋場・町役場文書 180部 / 三島市郷土資料館研究報告13 180部

◆事業の効果:三島の歴史・文化に興味を持ってもらうとともに、地元への愛着を育む手助けができた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	講座・教室等についてはこれ以上開催回数を増やすことは難しくなってきていたため、質の向上に努め、また、楽寿園のイベントや他団体との連携を深めることで満足度や参加者・入館者を増やすよう工夫していく。また、地域の文化財の散逸、多言語化対応、インターネット上での情報提供などの新たな課題が出てきているため、それらへの対応の準備を進める。

状況を示す写真や資料等



▲郷土資料館研究報告



▲企画展チラシ



▲郷土教室の様子

進捗評価シート

(様式1-4)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

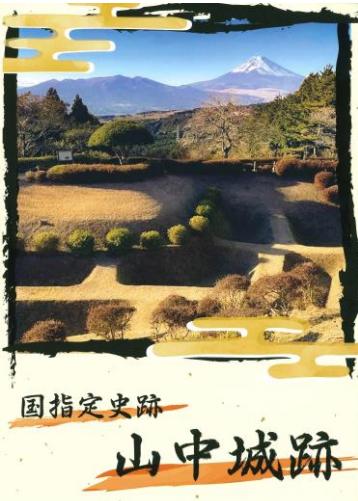
項目	評価対象年度	令和2年度	現在の状況			
文化財の防災			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手			
計画に記載している内容	●文化財のうち有形文化財は、火災、地震、落雷、水害、台風等の災害により毀損、滅失する恐れがあることから、個別の有形文化財ごとに防災対策を検討し、被災リスクの軽減を図ることが求められる。 ●美術工芸品などの有形文化財は、盗難に遭わないように防犯設備設置を推奨するとともに、所有者の防犯に対する意識向上を図る。					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
<p>●1月25日の文化財防火デーにあわせ、三嶋大社、楽寿館、佐野美術館、三島市郷土資料館で防災訓練を実施した。</p> <p>●国登録有形文化財について、富士山南東消防本部による防火設備の設置状況の確認を行った。</p> <p>◆事業による効果</p> <p>定期的に防災訓練を実施すること、実施に際しては実際の状況を想定し、毎回課題をもって訓練することで、防災意識が醸成された。</p>						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	防災訓練は継続して実施することが重要であり、引き続き、市内の文化財所有者に対し、防災訓練の実施を呼びかけていく。					
状況を示す写真や資料等						
 <p>▲三嶋大社本殿からの出火を想定した消火訓練</p>						
   <p>▲楽寿園の楽寿館からの出火を想定した放水及び消火器による訓練 (令和3年1月26日)</p>						

進捗評価シート

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

(様式1-4)

項目	評価対象年度 令和2年度	現在の状況		
文化財の保存・活用の普及・啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
計画に記載している内容	<p>●本市に分布する文化財のパンフレット作成や市ホームページの充実を図る。 ●市民の文化財に対する理解を深める機会の創出に繋げるため、発掘調査、整備工事、建造物修理の現場説明会などを随時実施する。 ●観光ボランティア等によるガイド活動やイベントの開催などにより、文化財の普及・啓発を図る。</p>			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
<p>●自分の住んでいる地域の歴史や文化財を調査し、保護に努め、次世代に残す活動をしている市民団体に対して、これまでの成果をまとめることを促し、その成果をまとめた刊行物の編集アドバイス、印刷費の補助を行うことで、郷土に対する愛着心を持つ人が増えるよう働きかけている。現在4団体に活動成果をまとめることを提案しており、下原稿が集まりつつある。</p> <p>●山中城跡についてのリーフレットを新規作成し、携帯用の「山中城跡案内マップ」をリニューアル増刷した。</p> <p>●ガバメントクラウドファンディングの制度を利用し、年間約1,500万円かかる山中城跡の維持管理費への寄附をいただいた。この試みは令和3年度で3回目となり、寄附者には普段は入れない障子堀の中に入り、自由に記念撮影ができるイベントに招待をした。</p> <p>◆事業の効果 文化財などに対する情報を行政側からだけではなく、地域に住んでいる市民の方からも発信してもらうことで、郷土愛を深め、シビックプライドを高める効果がある。</p>				
進捗状況 ※計画年次の対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	<p>地域の歴史や文化、文化財について、一番情報を持っているのはその地に住む人たちなので、これからも地域で活動している郷土史研究会等がその成果を広く他の人に情報発信できるよう提案・協力していく。</p>			
状況を示す写真や資料等				
<p>ガバメントクラウドファンディング 寄附受付期間:10月1日～12月30日、イベント実施日:3月6日(土) 寄附金額:1,995,610円、申込者:173人、イベント参加者:172人</p>   <p>▲寄附者限定イベントの様子</p>				
 <p>▲新規作成した山中城跡のリーフレット</p>  <p>▲リニューアル増刷した案内マップ(A4判)</p>				

進捗評価シート 評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度 令和2年度
歴史と文化財紹介 再発見語り継ぐリーフレット完成	2020/4/4	伊豆日日新聞
錦田地区の魅力紹介 三島郷土研究会がリーフレット	2020/4/5	静岡新聞
「三嶋大祭り」戦後初の中止 市民に落胆と理解	2020/4/23	静岡新聞
「三嶋大祭りへの思い 送って」観光協 写真、メッセージ募る	2020/7/7	伊豆日日新聞
「伝統絶やすな」コロナ禍、練習に工夫―三嶋大祭りしやぎり	2020/7/26	伊豆日日新聞
三嶋大社、85年ぶり舞殿改修 完成奉告、巫女舞を奉納	2020/8/16	伊豆日日新聞
山中城跡、名入りのぼり旗180本 三島市、維持管理へ寄付PR	2020/8/19	伊豆日日新聞
三嶋暦師の館、外観新装 展示資料説明最新に	2020/9/2	伊豆日日新聞
南二日町がしやぎり巡行 子どもに晴れ舞台用意	2020/9/28	静岡新聞
子供「しやぎり」威勢良く 寄付募り打ち上げ花火も	2020/11/5	静岡新聞
家康と三島の歴史解説―史跡巡る見学会も	2020/11/16	静岡新聞
農兵節踊り観光PR動画 楽寿園や山中城跡、旧東海道石畳撮影	2020/11/23	伊豆日日新聞
太陽暦、分かりやすく 三島・藤木さん、絵本「こよみ姫」制作	2021/1/16	伊豆日日新聞
写真、動画で魅力発信 三島市が公式インスタ開設	2021/2/20	伊豆日日新聞
山中城跡 学芸員解説や撮影満喫 CF協力者向けイベント	2021/3/7	静岡新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

三島の歴史的風致に関する内容が多数新聞報道された。これらの報道を通して、歴史的風致の維持向上に関する認識が高まることが期待される。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	状況を示す写真や資料等

状況を示す写真や資料等

山中城跡

三島市の国際定住路「山城路」で6日、市が維持管理費として寄付を呼び掛けた。ファンディング(FCF)の協力者を対象にしたイベントが開かれた。約150人の城路ファンが市の中学校から説明を受け、普段では見られない山城の魅力に触れた。

学芸員解説や撮影満喫



▲静岡新聞
(令和3年3月7日)

子供「しゃぎり」威勢良く

かつての姿に思いをはせた。お城博士」としてテレビ番組などに出て演している小学5年生の栗原喜大君(1)・横浜(三島支局・金野真

寄付募り打ち上げ花火も

（三品支局）金剛山
（三品支局）金剛山
して、金剛山も多くの
アントイドで寄付
呼び掛けながら開催
に喜んだ。
の打番でアントニー
グの打番でアントニー
いて、児童らが笛や
鼓、すがねを威勢
法被を着て、荷物
法被を着て、荷物
「四丁目」などと曲
たしたが、か
テージを強調して、
場を盛り上げた。夜
に打ちかかる火を火
めながら、おどりを
めらう。おどりのよ
りの様子がシオや
ンターネットでもう
シオで見られた。

▲静岡新聞
(令和2年11月5日)

三島市-14

進捗評価シート

(様式1-6)

評価軸⑥-1

その他(効果等)

		評価対象年度	令和2年度																																	
項目																																				
観光交流客																																				
計画に記載している内容	市民及び観光客に向けて多様な媒体を活用した積極的な情報発信を行うことにより、観光客の増加に繋げるとともに、市民の本市歴史的資源への認識と意識の向上に繋がり歴史的風致の維持向上が期待される。																																			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付																																				
<p>●伊豆の玄関口という地勢や三嶋大社などの歴史資源及び文化資源に加え、街の景観向上整備や特産品の積極的なPR活動の成果として、観光交流客数は増加傾向にある。</p> <p>●令和元年度の観光交流客数は約714万人(前年度比7.8%減)、市民の住環境に対する満足度は前年比0.8ポイント上昇した。</p> <p>※観光交流客数は、現在と同じ統計手法となった平成21年度対比で約287万人増加している。</p>																																				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																																			
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし																																				
状況を示す写真や資料等																																				
<table border="1"> <caption>観光交流客数等の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>観光交流客数 (人)</th> <th>住環境満足度 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22年度</td><td>4,200,000</td><td>85.0</td></tr> <tr><td>H23年度</td><td>4,400,000</td><td>85.5</td></tr> <tr><td>H24年度</td><td>4,400,000</td><td>85.0</td></tr> <tr><td>H25年度</td><td>5,300,000</td><td>86.0</td></tr> <tr><td>H26年度</td><td>6,000,000</td><td>86.0</td></tr> <tr><td>H27年度</td><td>6,500,000</td><td>87.0</td></tr> <tr><td>H28年度</td><td>7,800,000</td><td>88.0</td></tr> <tr><td>H29年度</td><td>7,700,000</td><td>88.5</td></tr> <tr><td>H30年度</td><td>7,800,000</td><td>89.0</td></tr> <tr><td>令和元年度</td><td>7,140,000</td><td>89.5</td></tr> </tbody> </table>				年度	観光交流客数 (人)	住環境満足度 (%)	H22年度	4,200,000	85.0	H23年度	4,400,000	85.5	H24年度	4,400,000	85.0	H25年度	5,300,000	86.0	H26年度	6,000,000	86.0	H27年度	6,500,000	87.0	H28年度	7,800,000	88.0	H29年度	7,700,000	88.5	H30年度	7,800,000	89.0	令和元年度	7,140,000	89.5
年度	観光交流客数 (人)	住環境満足度 (%)																																		
H22年度	4,200,000	85.0																																		
H23年度	4,400,000	85.5																																		
H24年度	4,400,000	85.0																																		
H25年度	5,300,000	86.0																																		
H26年度	6,000,000	86.0																																		
H27年度	6,500,000	87.0																																		
H28年度	7,800,000	88.0																																		
H29年度	7,700,000	88.5																																		
H30年度	7,800,000	89.0																																		
令和元年度	7,140,000	89.5																																		
<p>▲観光交流客数等の推移</p> <p>【数値参照元】 観光交流客数:「令和元年度 静岡県観光交流の動向」 住環境満足度:「令和元年度 三島市 市民意識調査 報告書」</p>																																				

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和2年度
<p>・法定協議会等におけるコメント</p>	
<p>コメントが出された会議等の名称:三島市歴史まちづくり協議会</p>	
<p>会議等の開催日時:令和3年5月12日(書面開催)</p>	
<p>(コメントの概要)</p>	
<p>■まち並みと景観形成</p> <ul style="list-style-type: none">・三島駅南口の景観重点整備地区「一番町三島駅前通り地区」は三島駅利用者にとって最初に目につくまち並みである。古びたアーケードが撤去され電線の地中化が進むことで、景観形成が一段と進んだことは喜ばしい。・路上での営業行為等の迷惑防止の策も講じていく必要がある。	
<p>■歴史的風致形成建造物保全整備事業</p> <ul style="list-style-type: none">・旧小松宮別邸桜御殿の耐震改修・修繕等の進捗によって、樂寿館・梅御殿と合わせた今後の維持保全活動を期待したい。	
<p>■三島大祭り補助事業</p> <ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルスによる三島大祭りの中止・縮小は止むを得ないが、歴史文化継承の観点から継続的な支援が必要である。	
<p>■案内看板統一化事業</p> <ul style="list-style-type: none">・歴史的な建造物等を含んだウォーキングコースについて、所要時間の案内や、回遊できるよう に復路を設定した方が望ましい。また、パンフレットの作成と設置場所を考える必要がある。	
<p>■観光交流客</p> <ul style="list-style-type: none">・観光交流人口の増加と合わせ、住民の転入超過など外的的な成果も顕著になっている。現在の取り組みを継続、加速させてほしい。	
<p>■地域文化財啓発補助事業 ほか</p> <ul style="list-style-type: none">・静岡県は、令和2年度に、文化財を支える活動団体を認定する「ふじのくに文化財保存・活用推進団体」認定制度を創設し、三島市内では2団体が認定された。文化財の保存・活用を支える様々な団体について、活動を推奨することを希望する。	
<p>(今後の対応方針)</p>	
<ul style="list-style-type: none">・まち並みと景観形成では、新たな景観重点整備地区の指定に向け進めていく。・歴史的風致形成建造物保全整備事業では、歴史的風致維持向上計画における重点区域内の歴史的建造物について、維持保全を図るとともに、必要な補修及び修復などを行う。・三島大祭りほか、新型コロナウイルスによる中止・縮小などの影響を受けた事業を含め、歴史的風致の維持向上のため、補助事業を継続していく。・案内看板統一化事業は、表記方法や意匠の統一、多言語表示を進め、点在する歴史的資源等のネットワークを形成し、来訪者の回遊性の向上を進める。	